

第8回全国書写書道伝統文化大会  
総合の部

【伝統文化賞】

大阪府・吹田市立岸部第2小学校4年  
米田 琴音

たくさんの事注意して書いた

このたびは大変すばらしい賞をいただき、本当にありがとうございます。受賞のことを聞いた時は、とてもびっくりしました。去年の伝とう文化大会では、毛筆の方では思うような結果を出せなかったのですが、今年は総合賞である『伝統文化賞』をとることができてうれしいです。

今この文章を書きながら、お手本や練習したものを見返しています。たくさんのことに注意して書いたなあと思います。

硬筆では、文字のならびがガタガタに見えないようにするのが大変でした。年賀はがきはカタカナが多く出てきて、中心をとることがむずかしかったです。「おめでとうございます」の「す」と、三行目以降の「す」は、同じ文字でも形を同じにして、大きさだけ変えるのがむずかしかったです。

文章の意味が一つずつまとまるように、行と行の間かくも考えて書きました。

毛筆では、はらいやはね、止めの形や強さに気をつけながら、つながりをイメージして流れを止めないようにと思いながら書きました。頭の中では分かっているけれど、実さいは思ったようになかなか書けませんでした。最後の「心」という大事な文字まで、あきらめずにがんばりました。